

政策課題研究 1

二枚貝等を評価指標とした湖辺環境改善手法の検討・実装に関する研究

二枚貝を指標とした湖辺環境評価・改善の実践結果に基づき、その手法をまとめた「(仮称)湖辺環境改善技術資料」を作成し、「技術資料」に則して琵琶湖湖辺の複数地点で現状の評価・解析を行い、湖辺環境の改善目標と対策について提言します。また、住民等による持続的・効果的な活動の構築手法を確立・実装します。

<サブテーマ>

- ・二枚貝等を評価指標とした環境改善手法の検討・実装
- ・砂地環境改善に向けた現状比較

【現状における課題】



湖辺環境改善手法の確立・実装

【課題解決に向けた対応】

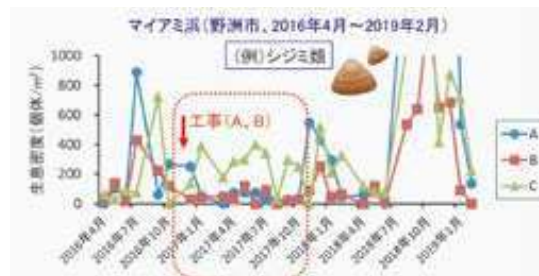
1 湖辺の健全な生態的機能を回復させる手順の確立と社会実装

- 底生動物と生息環境(底質粒径等)、餌環境(植物プランクトン等)、形成基盤(流動、波浪等)との対応関係の解析
- 住民参加による環境修復活動の効果検証
- (仮称)湖辺環境改善技術資料の作成・実装



2 砂地の造成が底生動物と生息環境に及ぼす長期的な影響の評価

- 10年程度前の養浜事業実施の有無による底生動物、底質、植物プランクトン等の動態の比較
- 砂地化による長期的な生息環境・餌環境への影響評価



○湖辺環境の改善目標と対策の提言

○地域の保全活動の担い手(住民・漁業者等)による環境修復活動の広がり